

ゆきあそびツアー

日時 2月4日(土) 6:30~19:00
 行き先 奥伊吹スキー場(滋賀県)
 参加者 34名

当日は、晴れ渡ったスキー場で、子どもも大人も思いきり遊びました。参加者のお一人に感想を書いていただきました。

このゆきあそびツアーにはもうすぐ4歳になる孫娘と二人で参加しました。最初はそり遊びは怖いと言って、同じツアーに参加していた小学生たちと一緒に雪を集めたり、穴を掘ったりして楽しんでいましたが、そのうちに小学生の真似をして雪をそりで運びだすことからそり遊びがはじまりました。そこからは「おもしろい!」「もう一回」の連続。坂の途中にあるコブのところを超えるたびに飛び上がるスリルがおもしろくてそり遊びがとまりません。そり遊び専用のキッズゾーンにある動く歩道を利用して坂を上がり滑り降りた回数は数えきれませんでした。動く歩道のゆっくりのスピードが待ちきれず自分で歩いて坂を登ることもあったり、そり遊びの楽しさが彼女の秘めたパワーを引き出してくれました。翌朝、目覚めと同時に「さあ、ゆきあそびに行こか」という言葉から、このツアーが「おもしろくて、もっとやってみたい」という体験になったことが実感出来る一言でした。(参加者 S・K)



レッジョ・エミリア市を視察して

vol.2

レッジョ・エミリア・アプローチでは、子どもについての事柄、あるいは子どものための事柄は、子どもから学ぶしかない。これが、保育者の使命であるとされています。創立者のひとり、ローリス・マラグッツィが書いた詩(別紙参照)を参考に、「子どもには100通りの表現方法がある」ということを意識して、保育者は幼児教育に取り組んでいます。

遊びの素材の豊富さは目を見張るばかりでした。例えば1つの色でも、自然の物、紙、布、プラスチック、鉛筆、ペン、絵の具等々無限にあります。どの保育施設にもあったのですが、下にライトを仕込み、天板がくもりガラスのテーブルで、その上に木の葉などを置き、光をあてることで色が変化します。ライトを使うことで色を活性化、立体化する狙いがあるそうです。先生は「たくさんの中から子どもたちは自分の色を選ぶのです」と言われました。その言葉からも一人ひとりが受けとめられ、尊重されていると感じました。

おわがい

ご家庭で不要になったスキーウェアや、手袋(大人用・子ども用)などがある方は、ご寄付をお願いします。

●チャイルドラインMIE

(きいてほしいな...) 子どもの心を受け止める
 18歳までの子ども専用電話
0120-99-7777

毎週 月曜日~土曜日
 午後4:00~午後9:00

●こどもほっとダイヤル

(助けて!も言える) 子どもだけが相談できる
 18歳未満の子どものための相談電話
0800-200-2555
 毎日 午後1:00~午後9:00
 (12月29日~1月3日はお休み)



●この会に賛同し、会を支えてくださる個人・団体の方を募集しています●

個人正会員・参加会員：年8,400円 賛助団体会員：年1口10,000円 支援会員：年1口3,000円
 ※入会金：300円

会員数 正会員：27名 参加会員：5名 支援会員：85名 賛助団体会員：25団体 (3月17日現在)

【賛助団体会員】			
・医療法人 イワサ小児科	・ささおこどもクリニック	・東海印刷株式会社	・松阪市健康体操連絡協議会
・うれしの 太田クリニック	・株式会社 ジェントリー	・東海シール株式会社	・まんのう整形外科
・大久保クリニック	・上瀬クリニック	・ナガフジ産業有限会社(3口)	・医療法人 南産婦人科
・おたクリニック	・医療法人 たるみ内科胃腸科	・はせがわこどもクリニック	・医療法人社団 鷺尾小児科
・岡田パッケージ株式会社	・医療法人 地主矯正歯科クリニック	・健康体操 ひまわり会	・他一団体
・医療法人 河合産婦人科	・鎮守の森を夢見る会・その二	・株式会社 富士土地	
		・株式会社 フレンズ	
		・ミスタードーナツ・松燈庵	

特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター

〒515-0084 松阪市日野町788 カリヨンプラザ1F (開所日・時間 月~金10:00~17:00)
 TEL 0598-20-8344 FAX 0598-20-8345 ホームページ <http://www.mknpo.jp/> eメール info@mknpo.jp

K O D O M O 21

子どもたちがのびやかで豊かな「子ども時代」を過ごすために

Spring NO.197

2017年4月1日

発行元：特定非営利活動法人
 松阪子どもNPOセンター

イタリア レッジョ・エミリアに学ぶ子育て支援 ~地域の中での子ども・子育て支援とは~

日時 2月18日(土) 14:00~16:00
 会場 松阪市花岡地区市民センター

参加者 29名

最初に、レッジョ・エミリア市で取り組まれている幼児教育について、塩谷さんから話されました。保育園を視察した際、お昼前に2歳児が丸く輪になっていたの、何をしているのか聞いたところ、午前中どんなことをしたのかを、一人ずつみんなの前で話すのだそうです。そうやって小さいうちから、人前で自分の考えや思いを話し、他人の話も聞くことで、互いを認め合うことを自然に身につけています。レッジョ・エミリア・アプローチでは、「こうなさい」ではなく、「こうしてみたら」と提案し、考えて決めるのは子どもがします。コミュニケーションをとおして、子どもと大人がお互いに学び合う関係が作られ、子ども一人ひとりが尊重され、違いを認め合い、創造性を伸ばす教育がされているということでした。

馬場さんからは、「食」は人を良くし、食材を育てたり、実際料理をしたりして「体感」することで五感を使い、知る力・学ぶ意欲・総合力が育つということでした。

イタリアの保育園では給食の食器に陶器が使われていて子どもも本物を使っていること。視察先で出された軽食の食器や紙ナプキンにも、さりげなくイタリアンカラーが使われていてセンスがよく、これらは子どもたちの遊びの素材の色の豊富さにも通じると言われました。

用意されている様々な素材は、とてもカラフルでした!



レッジョ・エミリアの郷土料理「エルバツォーネ」

昨年11月21日~28日、(特)三重県子どもNPOサポートセンター主催のイタリア北部レッジョ・エミリア市へ「子ども主体」の幼児教育の視察に、当センター理事長 塩谷明美と、元中京大学教授 馬場啓子さんが行きました。その時の視察報告と、地域で子育て支援をされている第四地区住民協議会教育部会 部会長 鈴木逸郎さんの実践報告を行い、その後報告を聞いて感じたことを参加者でグループトークを行いました。



鈴木さんからは、小学生の登下校中の見守り活動や、「土曜学級」として地域のボランティアが小学生に勉強を教えたり、公民館で未就園児親子のための交流の場「ひよっこひろば」を月に1回開催しています。「地域のみんなで子育てをしよう」という思いで、子育て支援をされています。

グループトークでは、報告を聞いて感じたことを話し合いました。「子どもを市民として見ているというところに感動した」「沢山の人の中で子どもが育つことで、いろんな感性が育つ」「お米作りなどは、地域でできたら良いと思う」「スマホが普及し、親の子どもへの声かけが少なくなったことが心配」「小さい子を一人の人として尊重するという事は難しいが、今日話を聞いてそういうふうに見ていきたいと思った」「子どもが遊ぶ場所、体験する場所が少ない」「地域との関わりがなく、叱ってくれる人がいない」などの意見が出ました。

子どもが沢山の大人と関わり、自分のことを見てくれている大人がいるんだ、自分は地域の中にいるんだ、という思いを持って、様々な体験ができるような地域が増えていくといいなと思います。地域の大人として「ちゃんと見ているよ!」というメッセージを送り続ける人を増やしたいと思います。

2017年度 松阪子どもNPOセンター 事業スケジュール

 このマークは、「子どもの体験事業」です。

(特) 松阪子どもNPOセンターは、子どもたちがのびやかに豊かな子ども時代を過ごすことを願っています。子どもが本来持っている力を発揮し、自分で考え判断し、人生を切り拓いていくことが大切だと考えています。しかし、今の子どもたちは、必要な体験を十分にしておらず、大人からの指示を待っていることが多く、自分に自信を持てずにいます。私たちは、子どもたちに、人…異年齢の子どもや様々な大人…と関わりながら、生活・自然・社会・文化芸術などの体験の場を提供します。今年度は子どものためのシェイクスピア「リア王」、まちをあそぶ、ゆきあそびツアーを実施します。

子ども一人ひとりがあるのまを受けとめられ、子どもに思いを寄せ、子どもと共に学び合う地域を作り、子ども支援者をひろげていくために、今年度も事業を展開していきます。10月22日(日)には「社会的養護の社会化フォーラム」を県内の子ども支援NPO等と協働で開催します。地域の中での子ども支援について一緒に考えませんか？

2017 4月

2017 5月

度会郡・大台町・ファミリー・サポート・センター 提供会員養成講座

日程：5月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)
会場：南伊勢町役場 南勢庁舎

大台町・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町が連携して、ファミリーサポートセンター事業をしています。子育ての方も是非ご参加ください！

2017 6月

子ども支援者養成講座 「受け手養成のための講習会」

日程：6月18日(日)、24日(土)、25日(日)
7月2日(日)、8日(土)、15日(土)、16日(日)
会場：三重県津庁舎ほか
(詳しくはチラシをご覧ください)



子どもの気持ちを聴き、寄り添うために、子どもの現状や社会の状況について、各分野からお話を聞きます。講座に参加して受け手になりませんか？

2017 7月

まつさかファミリーサポートセンター 平成29年度第1回援助会員養成講座

日程：7月22日(土)より開始予定

子どもについて、保育、遊び、発育、看護、発達、食をとおして学びます。子育て支援に関心のある方、子育て真っ最中の方お待ちしています。



2017 8月

子どものためのシェイクスピア「リア王」

日程：8月19日(土)
会場：三重県総合文化会館

子どもの豊かな感性を育むため、質の高い生の舞台に触れる文化芸術体験の場を提供します。



2017 12月

まちをあそぶ (12/9は夜、12/10は昼開催)

日程：12月9日(土)、12月10日(日)
会場：松阪市内

子どもが育つ土台となる「あそび」が大切だと考えています。子どもが育つ街で大人と共に思い切り遊ぶ体験をします。



2017 11月

11/3(祝) 氏郷まつり バザー出展

広報活動、ファンド活動をします。



2017 10月

社会的養護の社会化フォーラム 「つながってみんなで育てたらえんやに」

日程：10月22日(日)
会場：三重県男女共同参画センター フレンテみえ(津市一身田上津部田)

基調講演：荘保共子さん (特定非営利活動法人こどもの里 理事長)

2017 9月

まつさかファミリーサポートセンター スキルアップ研修会

日程：未定 会場：未定
講師：未定
「子どもの権利」について 講義とグループディスカッション

子育て中の方や子育て支援をしている方・したい方に、ぜひ参加いただきたい講座です。



2018 1月

まつさかファミリーサポートセンター 平成29年度第2回援助会員養成講座

日程：未定 会場：未定

第1回と同様子どもについて、各分野から学びます。地域の中で、「お互いさま」の関係をつくっていきます。



ボランティアを募集しています

- 各事業のスタッフ
- チャイルドラインの受け手
- チャイルドラインのカード分け
- くるくるレインボーづくり
- 使用済みインクカートリッジの仕分け



2018 2月

ゆきあそびツアー

日程：2月3日(土)
行先：奥伊吹スキー場

家族や友達と雪の中で遊ぶ自然体験の機会を提供していきます。親子で行くバスツアーです。



チャイルドラインチャリティ映画会 「さとにきたらええやん」

日程：2月25日(日)
会場：農業屋コミュニティ文化センター
子ども支援のネットワークを拡げることが目的として開催します。収益の一部はチャイルドラインMIEネットワークに寄付します。



2018 3月

主な事業

- まつさかファミリーサポートセンター事業 依頼会員・援助会員のコーディネート、研修会、交流会
- 度会郡大台町ファミリー・サポート・センター事業 大台町ファミリー・サポート・センターの実施・運営
- チャイルドライン事業 チャイルドライン月3回・こどもほっとダイヤル月4回実施、ファンド活動
- 松阪市養育支援訪問事業 家事育児が困難な家庭へ2人1組で訪問支援
- 児童養護施設入所児童への学習支援事業 週1回1時間、児童養護施設の小学生への学習支援
- 里親普及啓発事業 里親について理解と支援を拡げる
- 子どもの体験事業 子どもの生活・自然・社会・文化芸術などの体験
- ネットワーク作り事業 多様な団体と連携して、子ども・子育て支援のネットワークを拡げる
- 広報紙の発行(4月・7月・11月・1月)、ホームページの運営